



．．．麻溝地区．．．

麻溝地区は、相模原ギオンスタジアム、相模原麻溝公園や県立相模原公園、相模川周辺などは、緑豊かで史跡や景勝地も多く、自然を満喫できる地区です。また、圏央道の「相模原愛川インターチェンジ」が開設され、今後はさらなる発展が期待されます。

麻溝地区優秀賞



【撮影者】荻原 雅子
【タイトル】ネモフィラの咲く季節に
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】周りの木々が一段と緑濃くなり、足元には鮮やかなブルーのネモフィラが春の到来を告げていました。

審査員寸評

とても穏やかな感じを受けました。咲き誇るネモフィラも美しく、背景の大木も何か優しさを伝えてくれています。花と木が相まってこの雰囲気を作っています。

【撮影者】塩谷 憲司
【タイトル】願い(ねがい)
【撮影場所】八景の棚
【コメント】息子の高校受験の祈願に座間神社に行き、その帰り道に「八景の棚(はけのたな)」に寄ってきました。光が差ししてくれることを祈ってシャッターを切りました。





【撮影者】塩谷 憲司

【タイトル】ほほえみ

【撮影場所】麻溝公園近くの水道道

【コメント】麻溝公園からの帰り道、水道道に夕陽をあびて優しい表情をしているチューリップがありました。しゃがんで見ると、少しだけ顔をだして微笑んでいるようにみえるチューリップが印象的でした。

【撮影者】境 みのる

【タイトル】水面の景色

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】公園を散歩していると池に花と後ろの景色が映り込んでいるのを見つけた。水面が静かなときに角度を変えて数枚写真を撮った。



【撮影者】境 みのる

【タイトル】ガラスに写る初日の出

【撮影場所】相模原麻溝公園グリーンタワー

【コメント】元旦にグリーンタワーから初日の出を見る機会を得た。日の出の反対側の丹沢を眺めているとガラスに太陽が映りまるで丹沢方面からの日の出みたいに見えた。





【撮影者】今井 敏夫

【タイトル】夕焼けファンタジア

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】薄暮の雰囲気を出そうと集中して撮影していた時、ふと空を見上げると夕焼けに染まっているのに気づき、急いでシャッターを切った。約3分で消えてしまった。



【撮影者】今井 敏夫

【タイトル】紅葉と桜の競演

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】日が西に傾きかけた公園を散歩中に珍しい光景に出会った。なんと紅葉の手前に桜？が咲いている。圧縮効果を出す為、望遠レンズで撮影。桜の正体は、10月桜との事。



【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】花菖蒲

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】本菖蒲の名、場も知らぬが、本会場から4.50メートル離れ手入れも行き届かぬ小さな菖蒲園に密生し見事に咲いていたもので、生命の強さに感動し撮影した。





【撮影者】荻原 啓二

【タイトル】メタセコイアの並木道

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】フランス式庭園の両側には新緑な綺麗なメタセコイアが林立し、みんなの憩いの散歩道になっています。

【撮影者】廣田 幸一

【タイトル】青の広場

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】土曜の朝、公園に行くと、ネモフィラのブルーが公園の一部を照らしていた。一時的な事でしょうがすばらしい。



【撮影者】籠島 真澄

【タイトル】秋の訪れと彩りのシンフォニー

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】秋に移ろう壮大な公園内に、ベルサイユ宮殿のような優美に満ち溢れた佇まいが癒しと感動を感じました。



【撮影者】佐藤 康子
【タイトル】よく見えるよ～！
【撮影場所】相模原麻溝公園ふれあい動物広場
【コメント】まだまだ残暑が感じられる今年の初秋、動物たちと、お喋りしながら撮影して廻ったときの1コマです。



【撮影者】鈴木 滋
【タイトル】時の音
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】10時と11時になりますとメロディが流れ、キャラクターの人形が出て時報を知らせます。その間3分～4分位かなと思いますが、その間に写真を撮りました。

【撮影者】鈴木 滋
【タイトル】噴水広場
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】サカタのタネ グリーンハウスの2階からハロウィーンの花などを入れてワイドに撮りました。





【撮影者】猪俣 達夫

【タイトル】昼なお暗き大正坂

【撮影場所】新磯野と下溝をつなぐ大正坂

【コメント】えっ、南区にこんな坂道があるの！あるんです。新磯野地区から下溝地区へ下る段丘涯に造られた坂道。この坂道には歴史が秘められています。小田原北条氏の、四代目当主の弟・「北條氏照」の娘にあたる姫様の「貞心（後の貞心尼）」が住んでいたと言われる堀之内地区。当時のままの風景が残っています。丁度花菖蒲が満開で、その姿を空や木々の緑と共に水辺へ写し込まれ、とても綺麗でした。

【撮影者】ばっしー

【タイトル】懐かしい？逆に新しい？

【撮影場所】下溝にあるレトロ自販機コーナー

【コメント】下溝にあるレトロ自販機コーナーです。こちらでは40台の自販機が所狭しと並んでいます。ここではカップ麺やらハンバーガーやらレアな古い自販機が並んでいるのですが、今どきの子どもが喜んで並んでる姿を見ると逆に新しい気がします。



【撮影者】樋口 隆三

【タイトル】凜として

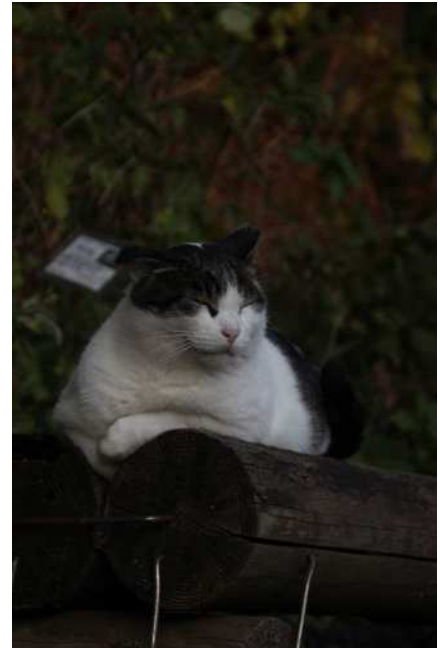
【撮影場所】相模原公園 菖蒲園

【コメント】菖蒲の凛とした美しさが際立つように、背景を黒くして撮りました。





【撮影者】小峰 伊津子
【タイトル】まどろむ猫
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】公園に住む猫たちの、生きるすべを
心得た逞しさを、居眠りをしている姿から垣間見
えたように感じました。



【撮影者】小峰 伊津子
【タイトル】晩秋のカフェ
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】公園の奥に散歩する人たちの憩いの
場所がある風景。

【撮影者】吉富 明德
【タイトル】沈む夕日とグリーンタワー
相模原展望塔のシルエット
【撮影場所】相模原麻溝公園前
【コメント】夕空を真っ赤に染め沈む夕日、
グリーンタワーがシルエットとなって黒く
浮かび上がった幻想的な瞬間。





【撮影者】甲斐 愛望

【タイトル】おとぎばなしのせかい

【撮影場所】県立相模原公園・相模原麻溝公園

【コメント】小さい頃、よく連れてこられて遊んだ遊具が今になって小さい子の目線で見ると、まるでおとぎばなしの世界に入りこんだ印象を持ちました。

【撮影者】甲斐 愛望

【タイトル】秋色に染まる

【撮影場所】県立相模原公園・相模原麻溝公園

【コメント】さぁ帰るか、と思い歩いていたら目の前に現れた秋色に染まったグリーントワー。周囲も少し色付いていて、一層秋のおとずれを感じました。



【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】あじさいとグリーントワー

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】相模原の有名スポットである麻溝公園のグリーントワーと、ぼくのいちばん好きな花である紫陽花を撮りました。よく考えると、麻溝公園にたくさんの人々が訪れているのは、花言葉が「寛容」である白い紫陽花のおかげなのかもしれません。





【撮影者】ジョー

【タイトル】憩い - 空と緑と水と。

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】深まる秋の日。仕事を終えた私は、何気なく午後の公園に足が向きました。斜めから差し込む午後の陽射しが、毎日の暮らしに少し疲れた私の体を優しく包み込み・・・そして私の心は・・・空のように大きく、緑のように美しく、水のように清らかになりました。



【撮影者】佐藤 千夏

【タイトル】生命

【撮影場所】八景の棚

【コメント】芽が夕焼けの空に向かって凜と伸びている姿に強い生命力を感じ撮りました。

【撮影者】太田 恒子

【タイトル】麻溝の朝

【撮影場所】相模原麻溝公園付近

【コメント】散歩中に撮りました。



「第7回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】関口 隆

【タイトル】春、相模川遠望

【撮影場所】八景の棚付近

【コメント】相模川でもこの付近は堰堤があり広くなっております。この年は堰堤上流の対岸に菜の花が見事に咲き誇りました。また川の流れの変化による浮島が現れる造形も見られました。その年々の天候と自然の変動による美しい相模川の創り出す風景を撮ることができました。